



大工技術を伝承するDX ～受け継いだ技術のバトンを次の世代へ～

中津市を中心に木造住宅の新築やリフォームを手掛ける、いろは建築技巧。

社長自身が9年間の大工修行時代に感じた「早く一人前になりたい」という思いや不安から、デジタルを活用した職人技術の見える化と習得期間の短縮を目指す。

「伝えた技術は使いこなすだけでなく、次の世代にも伝えていけ」

師匠の言葉を胸に、受け継いだバトンを次世代へつなげるべく、小規模工務店が技術伝承のDXに挑戦する。

業種	建設業（建築工事業）
カテゴリー	技術伝承
ソリューション	ウェアラブルカメラ
コンサルティング パートナー	（公財）大分県産業創造機構
ソリューション パートナー	アイモット株式会社

ビジョン 次代を担う若手の職人たちが、安心して一流の大工になれる環境をつくる

- 大工職人の経験や勘をデジタル活用により可視化し、若手職人が学べる環境を整備
- 早く一人前になり安定した収入や仕事を得られるような教育の仕組みをつくる
- 若手職人が安心して大工職人を目指せる環境をつくるとともに、担い手不足という業界構造を変革する

ハードル 師匠の仕事を「見て、やって、覚える」

- 大工の世界では、弟子が師匠の仕事を「見て、やって、覚える」という考え方が根強い
- 一人前になるまでの10年程の見習い期間中に、収入や将来に見通しがつかないと業界から若手が去る状況
- 技術やノウハウが可視化・言語化がされていないため、教える側の職人も適切に指導できない

ソリューション デジタルを活用した職人技術の可視化

- ウェアラブルカメラで職人の作業を撮影し、ノウハウを視覚化
- 金づちを使うときに手に伝わる感触の言語化や、カンナの刃を調整するときの音の違いをデータで見える化
- 職人技術を様々な角度から分析し、体系的に習得できるような教育制度を構築する

今後の展望

- 動画を活用した研修の改善
- ノウハウを他の業界にも公開し、若者が活躍できる社会を実現

成果

- 技術伝承のための社内教育制度構築（研修プラン、研修動画）
- 育成に対する職人の主体性向上



技術伝承のための研修動画